

市の木 市の花



ツゲ サツキ

# 広報 えびな

編集・発行  
海老名市役所秘書広報課

〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬175

☎ (0462) 31・2111



### アリソンさん(アメリカ)とキャサリンさん(カナダ) 英語教育の環境づくりにひと役



## 僕らの教室によろこそ

### 外国人の英語指導助手が中学校へ

市内中学校の英語の授業に、二学期から二人の外国人女性が英語指導助手として教壇に立ち、生徒たちの注目を集めています。英語指導助手のリード・メアリー・アリソンさん(26歳)は、アメリカのノースカロライナ州ランバートン市出身。ウィーブ・ジェイニー・キャサリンさん(22歳)は、カナダのプリティッシュコロンビア州ケローナ市出身で、二人は、国際化時代に生きる中学生の英語教育のため、市教育委員会が初の外国人英語指導助手として招いたものです。今回は、キャサリンさんよりひと足早く教壇に立ったアリソンさんの授業風景と、授業中の生徒たちの様子を紹介します。

#### ひと味「違う授業

九月四日、海老名中学校(鈴木幸雄校長、生徒数約100)の三時間目。すでに同校で二クラスの授業を済ませたアリソンさんが三年五組の教壇に立ちました。本場の英語を話すアリソンさんを前に、生徒たちはやや緊張さみ。アリソンさんは簡単な自己紹介を済ませると、生徒たちにも用紙を配りました。

この用紙には、例えば「マイ

ケル・ジャクソン(アメリカの歌手)が好きですか?」といった質問が英語で書いてあり、「イエス」か「ノー」で答える

言わばゲームの一種。グループに分かれた生徒たちが、こうした質問を互いにし合って「イエス」と答えた人だけから署名をもらい、一番多くの署名を集めた生徒が勝ち、というものです。この五分間のゲームで緊張がとけた生徒に、アリソンさんは、今度は生まれ故郷のこと、家族のことなどを話します。ときには笑いを誘い、ときには生徒へ質問しながらの話が済むと、もう一枚の用紙が配られます。

用紙には、アリソンさんの今の話の中で使われた単語と、全く使われなかった単語が書かれてあり、使われなかった単語を



中嶋 洋人くん



高橋 晴美さん

選び出す、という問題でした。アリソンさんの「ひと味」違う授業のためか、三時間目終了後、生徒たちからは、「授業時間が短く感じられた。アリソン先生とずっと話せるようになって、いろいろなことを聞いてみたい」という感想が聞きました。

#### 今後の目標は…

授業後、アリソンさんは次のように感想を話しています。「日本の生徒は恥ずかしがり屋で授業中は黙ったまま、と聞いていました。そんなことはありません。また、生徒と先生がたのび関係がうまくいっていることが印象的でした。今回は、たまたまゲームのよう



亀井教育長(右)と授業の打ち合わせをするアリソンさん(中央)、キャサリンさん(左)

なことも行いましたが、これは今まで生徒が学んだことを定着

#### 授業を終えて

◎生徒たちの感想

☆三年五組 中嶋洋人くん(14歳) 少し理解できなかった部分がありました。先生のナマの英会話にふれることができて楽しかったです。先生とは、授業以外にもスポーツなどをを通して交流を深めたいです。

☆同 高橋晴美さん(15歳) 最初は少し緊張して、先生に質問されたときは思わずどきどき。これからはもっと積極的に先生と話して、アメリカの中学生のことや行事のこともを聞いてみたい、と思っています。

させるために行ったもので、コミュニケーションの手段のひとつです」

「私の目標は、英語の先生の手助けとなり、生徒たちが英語を勉強するきっかけになること、英語教育の環境づくりに役立つことです。そのためにも、故郷と異なり、思いの海老名で頑張りたいと思います。」

なお、この日、アリソンさんが一番うれしかったことは、生徒がすれ違うとき「おはよう」をしてくれたこと。驚いたことは、朝礼のとき生徒全員が「起立礼!」をしたことだ。

#### 課外活動の指導も

一年契約で採用されたお二人は、今後、リード・M・アリソンさんが柏ヶ谷、海老名、大谷の三中学校を、また、ウィーブ・J・キャサリンさんが今泉、海西、有馬の三中学校をそれぞれ担当します。

各中学校には二週間単位で巡回し、毎週月曜日から金曜日まで一日約四時間、英語教師のアシスタントを務めるほか、課外活動の指導や、英語の授業で使用する録音教材(カセットテープ)や資料の作成なども行う予定です。







# フォトピックス

## 16団体が競演

市民音楽祭に千人

市内のアマチュア音楽団体が一堂に会し、日ごろの成果を発表する市民音楽祭が九月三日、市文化会館ホールで開かれた。この市民音楽祭は、実行委員会(君山義臣委員長)の主催で今年で四回目。十六団体、約三百五十人が練習の成果を披露。この音楽祭は、器楽の部、邦楽の部、合唱の部の三部門で構成されており、音楽に和洋の隔たりはないユニークなもの。



練習の成果がホールに響き渡った!

「市図書館の仕事を知って、図書委員の仕事に役立てよう」と有馬中学校図書委員会(滝沢剛委員長)の委員十四人が、八月一日の柏木由美子さんの「コンピュータ」操作は難しかったが、おもしろかった。本の整理方法がとてもわかりやすく、学校の図書整理の参考にした」と。また、同館でも学校から申し込みがあれば、一日図書館員を実施したい、と話している。

## 一日図書館員に

有馬中生徒14人が体験

「市図書館の仕事を知って、図書委員の仕事に役立てよう」と有馬中学校図書委員会(滝沢剛委員長)の委員十四人が、八月一日の柏木由美子さんの「コンピュータ」操作は難しかったが、おもしろかった。本の整理方法がとてもわかりやすく、学校の図書整理の参考にした」と。また、同館でも学校から申し込みがあれば、一日図書館員を実施したい、と話している。



コンピューターも初めて操作

## お元気でね!

市長が高齢者を訪問



記念品を贈られて喜びの鈴木さん

「いつまでもお元気で」と八月三十一日、市内在住の九十歳以上の方を、左藤究市長らが訪れ、長寿を祝う「高齢者訪問」が行われた。市長、諏訪助教、

月二十二日、二十三日の両日、「一日図書館員」を務め、館長から一日図書館員の任命証を受け、二人一組で市職員指導のもとにカウンタで、本の出し、返却、配架などの作業を行った。二年生の柏木由美子さんは「コンピュータ」操作は難しかったが、おもしろかった。本の整理方法がとてもわかりやすく、学校の図書整理の参考にした」と。また、同館でも学校から申し込みがあれば、一日図書館員を実施したい、と話している。

「私たちの地区は私たちの手できれいに」と九月三日、有馬地区で、親子参加による通学道路の統一清掃作業が行われた。主催したのは、有馬地区青少年健全育成連絡協議会(榊原祥会長)で今回で六回目。小学校五、六年生とその親、地域住民など約七百人が参加して、午前七時半に各地区ごとに清掃を行い、最終点の有馬小学校に午前九時に集合。この日、収集したごみは二ノ車四分にもなった。榊原会長は「運動の輪が広がり、市内全域での運動として定着できたらいいですね」と話している。

## ごみ2ノ車4台

有馬地区で通学路清掃



私たちの通学路はきれいになった



## 第216話 踊りの妙技で 狐を捕える

第二百十四話で紹介した、座ぶとんに座った人をそのまま踊りのリズムに乗せて移動させた「馬鹿面踊り」の名人は、下今泉から産川へ養子に来たのだが、相模川の近くで育つたため投網が得意で、一丈(約三丈)という大きい網を巧みにさばいた。時々実家に行くが、その折相模川で魚を釣るのが楽しみで、いつもたくさんの鮎をとってきたが、ある初秋の一日、外記河原向こうで魚をし、魚籠いっぱい鮎を腰に下げて日暮れを急いだ。天台に抜けの常楽院前の赤土の坂道を上り、四つ辻辺りまでくると、風もないのに小笹が揺れ、動物の気配が感じられた。「はあ、狐が腰の鮎を狙っているな」と察したので注意深く足を進めた。この辺りの狐はなかなか狡猾で、魚を買って帰ったら家に着いたときは毎度で中身は全然無かったなどという話は珍しくなかった。親戚からの噂り、土産の重箱に生動物が入っていたため狐に狙われて、栗原の中へ原辺りをぐるぐる引き回され、と腕の中歩いて疲れ切った道端に腕を下ろしているのを、朝、草を刈りに行った人が見つけて連れてきた、などという話も時折あったので、投網を担ぎ直すときながら呼吸を整えた。すると、何となくしに踊り口を張がでてきて、自然に踊りのリズムが体を動かかし始め



た。「よし、これでいこう」と、片手踊りを始めると、時々魚籠の中の鮎をつまみ出しては後ろのほうへほとんど投げ、踊りながら歩いた。親分狐は小豆殻の陰に身をひそめているが、ちょっと小豆殻の束が並んであるように見える。踊りながら鮎をさかんに投げ、こっちに投げつけて、それが山育ちの狐にはそれがどんなに危険なものかわからなかったのだらう。それとなく近づいても別段身構えも逃げもしないので、

それと十分にかかし切ったと思つて油断していたのか、親分狐はとも簡単に網を被つてしまった。鮎を捨てて手に負えない、と村人たちに恐れられていた老狐を、ましまと生け捕りにしてしまつた訳である。踊りに見とれて老獺な狐が通力も失つてしまつたのだから、この名人の踊りはまさに神技であると言えられて

天台から産川へかけての山道は下りの長いだらだら坂で、途中の少し平坦な場所を打った。踊りに見とれていたのか、

適切な距離に近づくと親分狐を狙い、跳んで逃げる方向を計算に入れて十分な姿勢で網を打った。(小島 直司)

## 海老名むかしむかし

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

9月3日～9月16日 第45話 文書に見る昔の上臈  
9月17日～9月30日 第46話 市内に残る芭蕉の句碑

郷土の昔話を知りたいあなたに!  
「海老名むかしむかし」  
品切れだった第2集を復刻  
第1～3集有料配布中  
各巻五〇〇円、A5判、上製本  
秘書広報課へ  
内線296